



大和市では職員の能力も市の財産の一部と考え、人財と表記することとしています。

## 基本目標 6 豊かな心を育むまち

学ぶことや創ることの喜び、スポーツで身体を動かしたときの爽快感や充実感、美しいものに触れたときの感動は、人々の心にゆとりとうるおいをもたらします。

大和市では、次代を担う子どもから高齢者まで、多くの市民が生涯学習やスポーツに親しみ、芸術、文化活動を楽しんでいます。これらの活動は個人の生活の質を向上させるばかりでなく、心身の健康とも密接な関わりがあるとされています。

また、芸術、文化活動の高まりは、これまで築きあげてきた歴史と固有の文化とともに、大和の新しい文化を形づくり、市民の創造性と豊かな感性を育みます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、生涯学習やスポーツ、芸術、文化活動を一層活発にしていき、豊かな心を育むまちづくりを推進します。

### 個別目標 6 - 1 いつでも学べる場と機会を充実する

仕事や家庭、余暇などの生活バランスに対する考え方が変化中、生きがいを感じながら充実した生活を送るため、また、自己実現や自己充実を図るために、生涯学習やスポーツ活動に参加したいという人はますます増えています。

大和市は、生涯学習やスポーツを気軽に行える機会や場を提供するとともに、市民一人ひとりの主体的な活動の成果を地域の社会的活動などに活かすことのできる環境を充実していきます。

1	めざす成果	生涯学習に取り組む人が増えている		
		(説明) 様々な学習機会が提供されることにより、生涯学習に取り組む人が増え、また、その活動成果が地域に活かされています。		
	成果を計る指標	市民1人当たりの学習センター年間利用回数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		4.08回	4.13回	4.23回
		ボランティア講師登録者数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		200人	225人	240人
		市民1人当たりの年間図書貸出冊数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
3.90冊	3.95冊	4.00冊		

2	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている		
		(説明) 気軽にスポーツを楽しむことのできる環境が整い、スポーツ活動に参加している人が増えています。		
	成果を計る指標	日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合		
		現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		33.2%	34.5%	35.0%
		市民1人当たりのスポーツ施設年間利用回数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		6.12回	6.15回	6.30回

## 個別目標 6 - 2 大和の文化を守り育てる

大和市が育んできた歴史と文化は市民にとっての貴重な財産です。先人から受け継いだこれらの財産を、次代に継承していくことによって、大和の文化は脈々と生き続けます。

また、市民の活発な芸術、文化活動は、新たな文化を生み出し、文化の薫りに満ちあふれたまちを形成します。

大和市は、多くの市民が日常生活の中で様々な芸術や文化に触れ、発信することができる環境を整えるため、芸術、文化活動の振興や（仮称）芸術文化ホールの建設に向けた検討を進め、大和の文化を守り育てていきます。

1	めざす成果	多様な芸術や文化が育っている (説明) 様々な分野の芸術、文化団体が組織されるなど、芸術、文化活動が活発に行われています。		
	成果を計る指標	芸術や文化活動が盛んに行われていると思う市民の割合		
		現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		36.6%	37.0%	38.0%
		文化芸術事業(市主催・共催)来場者数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		4,127人	4,500人	4,600人

2	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている (説明) 歴史的価値のある資料が体系的に整理され、それを展示する施設を多くの人々が利用しています。		
	成果を計る指標	大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合		
		現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		35.8%	36.5%	37.0%
		歴史文化施設の利用者数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		40,999人	42,600人	43,500人